

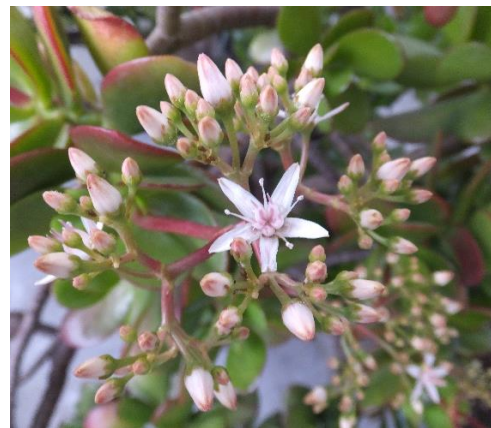
クリスマスの楽しみの一つとして、バルコニーにクリスマス・ホリーの鉢を置いています。艶々輝く緑の葉と真っ赤に熟れた大粒の実がクリスマスを生き生きと彩ってくれます。更なる楽しみは、バルコニーにやって来るヒヨドリ、メジロなどに、完熟の実をクリスマス・プレゼントにすることなのです。



11月に入り、実が赤くなり始めると、さっそく袋掛けの作業をします。温室状態になれば、実も成長するのではないかと想像するのです。

12月24日に、鉢をリビングのガラス戸の前に持って来て、袋を取り外します。クリスマスには小鳥たちがついばむ姿を眺める楽しみも味わえるのです。いつもなら、一週間もしないうちに実がなくなるのに、今回はあまり立ち寄りません。どうしたことでしょう。息子の家にも小鳥は来ないそうです。

上の方の実には知らないうちに啄ばれましたが、まだ沢山、赤い実をつけたままのクリスマスホリーが大寒の時、寒風の中で、小鳥たちを待っています。そんな中で、「カネノナルキ」という名前の植物が、初めて花を咲かせてくれました。多肉植物ですから、重々しい感じがしていました。



この植物は城ヶ島公園に遊びに行った時に、職員の方が夫に下さったものです。かなり大きく、重く、車に入れるのにも一苦労しましたが、夫は土の色が良いと喜んでいました。葉の形が硬貨に似ているためこの名前が付いたそうで、このネーミングは、私好みではない。和名は縁紅弁慶(フチベニベンケイ)とのことです。私は特に愛着を持ってないまま、育てておりました。ところが、団地の改修工事でバルコニーの鉢が下におろされた時、どこのブロックにもこの植物の鉢があつて、ずいぶん多くの方に愛好されているのだ、と知って驚いたものです。花の少ないこの時期に、このように白い、また、淡桃色の可憐な花を咲かせてくれて、やっと嬉しくなりました。



もう一つバルコニーで咲き乱れているのが、キャンディア・メイディアランドという名前の一重の深紅の薔薇です。香りはほとんどないものの、どんどん伸びて、枝を大きく、横に広げて、次々に花を咲かせてくれて、バルコニーを賑わせてくれています。どうして横に広がるのかと、困って支柱を立ててまとめようとしてきました。調べると半つる性とのこと。とても可愛い薔薇です。